

ロシア国債のデフォルト可能性と市場へ影響



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① ロシア国債はデフォルトの可能性も

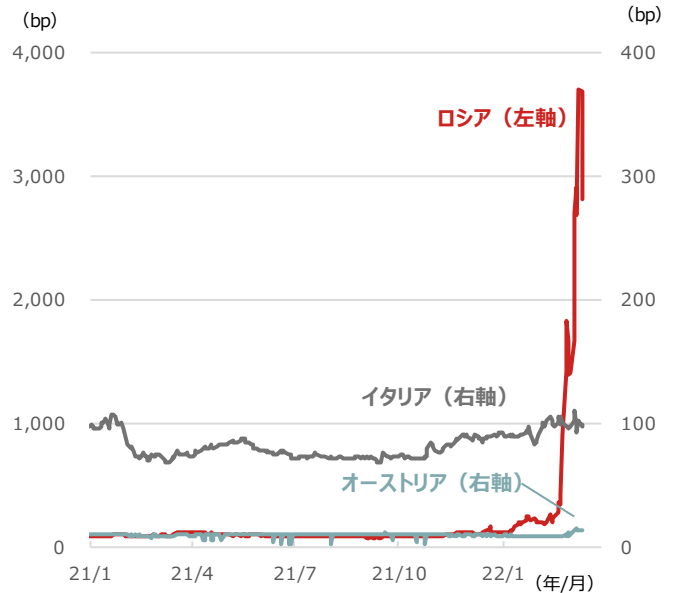
米欧などによるロシアへの制裁を受け、今後ロシアが、発行した国債の元本や利息を期日までに支払えるかが焦点となっています。既に市場ではロシア国債のCDSが急騰しており、デフォルト（債務不履行）シナリオは現実味を帯び始めています（右上図）。米ドル建てロシア国債は3月16日に1億米ドル超の利息の支払日を迎えます。ただ、猶予期間が30日あり、4月15日までに支払うことができればデフォルトは回避されます。そのほか3月31日には3億米ドル超、4月4日には20億米ドル超の元本償還も控えていることから、当面はロシアの金融情勢を巡る緊張が続くそうです。

ポイント② ロシア向け対外与信残高は限られる

一方、ロシアの財務相は米ドル建て国債の16日の利払いについて、米ドルで決済するよう指示する準備ができていると表明したほか、問題がみられた場合にはルールによる支払いを準備すると述べるなど、債務履行に前向きな姿勢を示しています。ただ、発行時点の条件である米ドル建てではなくルール建てで支払われた場合はデフォルト認定される可能性もあり、予断を許さない状況は続くと考えられます。

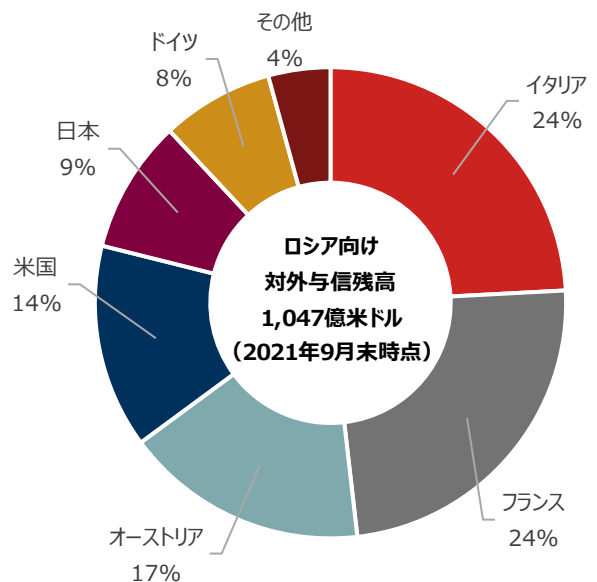
ロシアを巡る不安が高まっていることは事実です。とはいえ、ロシア向けの対外与信残高が相対的に多いイタリアやオーストリアの国債CDSは低位で安定しており、現時点ではロシア固有のリスクとして市場は捉えているようです（右上図）。ロシア向け対外与信残高は欧州勢が全体の7割を占めますが（右下図）、世界全体の対外与信残高に占めるロシアの比率は0.3%程度に過ぎません。仮にロシア国債のデフォルトが発生したとしても、世界全体の金融市場に与える影響は現時点で限定的と考えられます。

ロシア・イタリア・オーストリア国債CDS（保証料率）



期間：2021年1月4日～2022年3月15日、日次
 ・すべて5年物
 ・bpはベースポイント、1bp=0.01%
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ロシア向け対外与信残高に占める各国金融機関の比率



（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。